

第3回 マイケル・ノーベル・エネルギー技術シンポジウム

2014年10月1日、日本経済大学 246 ホール

アジア・エネルギー・ネットワーク（AEN）の実現に向けた具体的な取り組みとして、スマートグリッドや電気自動車（EV）の活用等について討議した。

ノーベル博士はジャマイカから、インドソーラーエネルギー協会のクマール副会長はデリーからテレビ電話（Skype）で参加した。ノルウェー工科大学のマルタ・モリナス教授からは北欧における先進的な再生可能エネルギーの取り組みについての講演があり、日本からは横浜市や大阪市でのスマートコミュニティ実証試験やEVの開発状況を報告した。

